

情報通信審議会 情報通信技術分科会

放送システム委員会

マルチメディア放送システム作業班

要求条件検討用資料についての意見

(構成員提出資料)

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット

サービス	高機能化 / 多様化		コメントなし
	アクセサビリティ		『全国向け放送』に関しては、SFNを用いて単一のチャンネルのみを用いる方法により置局を行うことを前提としているので、移動受信を考慮した物理チャンネル切替というのは適用されない。
	拡張性		コメントなし
インターオペラビリティ			マルチメディア放送は既存サービスの延長ではなく、新しいサービスの提供を前提としており、従来方式との互換性の必要はないと考える。
受信の形態			受信端末の費用は、開発費、材料費、マーケット規模など複雑な複合要因によって決まるものであり、要求条件としてあげるのは適当ではないと考える。
サービスエリア・周波数の有効利用			周波数有効利用の指針として、伝送レートを帯域で割った周波数利用効率だけでなく、同じ品質のサービスを同じ帯域の中でいくつ提供できるかという指針も考慮すべき。『全国向け放送』に関しては、SFNを用いて単一のチャンネルのみを用いる方法により置局を行うことを前提としているので、『同一周波数の利用(SFN)が可能であること』に変更すべき。
実時間性			コメントなし
著作権保護			コメントなし
放送品質	画質		コメントなし
	音質		コメントなし
	低C/N時の特性		低CN時の画質、音質をどのように扱うかはエラーコンシールメントなどの実装方法に関するものであり、放送方式への要求には適さないと考える。
	伝送品質		携帯端末向けマルチメディア放送において、及び ほどのような要求になるのか不明確。
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式		コメントなし
	音声入力フォーマット及び符号化方式		コメントなし
	データ符号化方式		マルチメディア放送は既存サービスの延長ではなく、新しいサービスの提供を前提としており、従来方式との互換性の必要はないと考える。
	多重化方式		多重方法は放送システム方式の一部分であり、より効率的に周波数を使用できる方法ならば多重方法そのものが国際標準と整合している必要性は必ずしもないと考ええる。
	限定受信方式	スクランブルサブシステム	『標準化するサービスへの対応を考慮する。』について明確化が必要。
		関連情報サブシステム	事業者間で共通化するという点よりも、複数のCASをサポートし、提供サービスや課金体系により事業者の使用したいCASが柔軟に選択できることが望ましい。携帯端末向けマルチメディア放送において、 ほどのような要求になるのか不明確。
	伝送路符号化方式	使用周波数	コメントなし
		伝送帯域幅	他システムへの干渉は主に隣接チャンネル漏洩電力及びスプリアス発射のレベルによるので、『伝送帯域幅』の項目は削除し、次項の『伝送路と干渉・混信妨害』に として『他システムへの妨害がないこと、他システムからの妨害に強いこと』を追加。
		伝送路と干渉・混信妨害	コメントなし
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)	コメントなし
		伝送容量	コメントなし
		サービス時間率	これは時間率マージンをどの程度考慮するかという回線設計に関連するものであり、技術方式に対する要求条件ではないと考える。
	受信機	操作性	
処理系		実装方法に関するものであり、受信機への要求には適さないと考える。	
蓄積系		実装方法に関するものであり、受信機への要求には適さないと考える。	
インターフェース		明確化が必要。 高速データ転送が携帯端末向けマルチメディア放送に必要なかどうかはマーケティングマターであり、要求条件としては適当でないと考ええる。	
仕様		コメントなし	
全体に対するコメント			<p>・『全国向け放送』と『地方向けブロック放送』の方式に関わる要求条件は別のものとして議論すべき。</p> <p>・具体的数値のない要求条件に対する評価はどのように行うのか？例えば、『番組の切替に要する時間はできる限り短いことが望ましい』や『パワー効率が優れていること』など。</p>

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット

サービス	高機能化 / 多様化		
	アクセサビリティ		
	拡張性		
インターオペラビリティ		メディア横断的に利用できる技術を用いたシステムであること。 他のデジタル放送サービスや各種通信サービスとの相互連携が可能なこと。	
受信の形態			
サービスエリア・周波数の有効利用			
実時間性			
著作権保護			
放送品質	画質		
	音質		
	低C / N時の特性		
	伝送品質		
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式		
	音声入力フォーマット及び符号化方式		
	データ符号化方式		
	多重化方式		
	限定受信方式	スクランブルサブシステム	削除、アクセス制御にマージ
		関連情報サブシステム	削除、アクセス制御にマージ
	伝送路符号化方式	使用周波数	
		伝送帯域幅	利用可能な周波数帯幅(90-108MHz, 207.5-222MHz)に効率よく割り当てられること。
		伝送路と干渉・混信妨害	
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)	
伝送容量			
サービス時間率			
受信機	操作性		
	処理系		
	蓄積系		
	インターフェース		
	仕様		
全体に対するコメント			
技術方式	アクセス制御方式*1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者やサービスによってDRM*2方式を選択利用可能なこと。 ・多様なライセンス発行手段が術現可能なこと。 ・コンテンツ毎に独立してアクセス制御が可能なこと。 ・ダウンロードされたコンテンツは暗号化されて蓄積されること。 ・アクセス制御に要する時間は出来る限り短いこと。 ・コンテンツの蓄積制御が可能なこと。 ・コンテンツの再生制御が可能なこと。 ・多様な課金形態を実現できること。 ・多様な課金決済手段を実現できること。 	

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

- 1 アクセス制御の定義等については、ARIB-STD-B25参照。
- 2 Digital Rights Management

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット

サービス	高機能化 / 多様化		
	アクセサビリティ		
	拡張性		拡張性とレガシー受信機問題は、相反する事項であり、事前に拡張性を確保することは、受信機価格の高騰につながりかねない。このため、符号化方式や限定受信方式など具体的な記載は避け、「新たなサービスへの拡張が可能なこと」との表現が望ましい。
	インターオペラビリティ		
	受信の形態		
サービスエリア・周波数の有効利用			既存 ~ に加え、実際の程度置局するかについては事業判断、免許方針によるが、技術的には、100%カバーが可能な方式(あるいは手法)を明確にしておく必要があることから、「 所定の帯域内であまねくカバーを達成する置局プランが可能な技術方式であること」を追加。
実時間性			
著作権保護			
放送品質	画質		
	音質		
	低C/N時の特性		
	伝送品質		
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式		
	音声入力フォーマット及び符号化方式		
	データ符号化方式		
	多重化方式		
	限定受信方式	スクランブルサブシステム	今後、有料ダウンロードサービスへの拡張も考慮し、スクランブルサブシステム、関連情報サブシステムという種分けはなくしたらいかがでしょうか。要求条件の内容は、文言の修正をした上で、サブシステムの ~ 、関連情報サブシステムの 、 、 を記載したらいかがでしょうか。
		関連情報サブシステム	
	伝送路符号化方式	使用周波数	
		伝送帯域幅	
		伝送路と干渉・混信妨害	
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)	
伝送容量			
	サービス時間率	本要求条件は、衛星の降雨減衰の対策を記載したものであり、移動受信の安定性については、伝送方式の部分に集約できると考え、本項目は削除したらいかがでしょうか。	
受信機	操作性		
	処理系		
	蓄積系		
	インターフェース		
	仕様		に加え、「 既存の放送受信機との共通受信機的设计が容易なこと」「 多様な端末的设计・製造が可能なこと」を追加したらいかがでしょうか。
全体に対するコメント			現在、携帯端末向け放送サービスとしては、「ワンセグ」があります。既に、「ワンセグ」は多彩な受信機が発売され、普及も進んでいる現状を考慮し、新たなマルチメディア放送の普及促進を図る上でも「ワンセグ」との共通化が図れることが必須だと考えています。全体にわたり「ワンセグとの共通化が図れること」とした要件を追加する必要があると考えます。

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット

サービス	高機能化 / 多様化	携帯電話・無線 / 有線通信ネットワークとの協調により、オンデマンド型サービスとも組み合わせることも可能とすることが望ましい。	
	アクセサビリティ	補佐情報は放送波だけではなく、携帯電話・通信ネットワーク上にあるコンテンツ補完場所情報(URL)も多重可能なこと。 携帯電話・無線 / 有線通信ネットワーク・放送波をシームレスに繋ぐために、物理チャンネルには携帯電話・無線通信ネットワークを含むほうが望ましい。これらマルチメディア番組選択・番組ガイドのインタフェースとしては従来のBML,HTMLでもない、言語としてオープンかつ世界標準となっているXMLをベースにするのが望ましい。	
	拡張性	これら拡張性をサービス開始後でも柔軟に対応可能なように、受信機はソフトウェア無線方式を採用するのが望ましい。	
	インターオペラビリティ	互換性を有するメディアは、携帯電話・無線 / 有線通信ネットワーク上にあるコンテンツも対象とするのが望ましい。できるだけ多くの既存メディアフォーマットに対応すべきである。 DRMにより著作権保護がおこなわれたコンテンツは携帯機器と家電(据置)機器間で情報転送(ムーブ)、複製(コピー)を行えることが望ましい。場合に応じて、コピーワンス・コピー10などの運用規定に準拠することが望ましい。	
	受信の形態	固定受信環境は、アンテナ受信高1.5mとした場合を想定すべきである。場合により法定電界(例:地デジ)を設定することが望ましい。高速移動体の設定速度は、リニアモーターカーを想定し 500km/hを想定するのが望ましい。 特に携帯受信機の場合には、ロッド・ホイップアンテナが必要になる受信環境を極力少なくし、昨今の携帯電話内蔵ワンセグ受信機のようなアンテナ内蔵型とすることが望ましい。	
	サービスエリア・周波数の有効利用	置局に関しては、設備投資(CAPEX)だけでなく、運用費用(OPEX)を含めて効率的になる方式となることが望ましい。人口カバー率は開局5年以内に90%とすべきである(総務省方針) 周波数利用効率率は、静止時=2以上、移動時=1以上、将来的には5以上を目指すのが望ましい。 同一周波数の利用(SFN)を可能にすることが必須である。(総務省方針)	
	実時間性	但し、蓄積型コンテンツはこの制限から除外されることが望ましい。	
	著作権保護	携帯電話・無線 / 有線通信ネットワーク上にあるコンテンツの記録・利用に関しても制御できる機能を有することが望ましい(例:OMA)	
放送品質	画質		
	音質		
	低C/N時の特性	受信機側のみでも環境適応性を向上させるために階層変調方式などを採用することが望ましい。	
	伝送品質	受信環境に応じて変調方式・誤り訂正能力などの変更に備える機能が具備することが望ましい。例としてISDB-Tの階層・セグメント毎に変調方式を変更する方法。	
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式		
	音声入力フォーマット及び符号化方式		
	データ符号化方式		
	多重化方式		
	限定受信方式	スクランブルサブシステム	
		関連情報サブシステム	
	伝送路符号化方式	使用周波数	
		伝送帯域幅	1ハード事業者の場合は、最大14.5MHzとすること。2ハード事業者の場合は1システムあたり最大7.25MHzとすること。(総務省方針)
		伝送路と干渉・混信妨害	SFN干渉耐性を高めるために現行のモバイル放送方式以上にサブキャリア数を拡張(拡大)することが望ましい。(例: DVB-T2、DVB-H2)
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)	技術適合試験項目・諸元を儲け、一定のフェージング・マルチパス条件における受信機の性能保証を行うのが望ましい。(例: DVB-H) Turbo符号などの誤り訂正方式を最低でも採用すること・将来的にLDPC・BCHなどの高度誤り訂正方式を採用することが望ましい。(例: DVB-T2、DVB-H2) 送信機の電力効率を向上させるためにPAPR制御方式を標準化することが望ましい。(例: DVB-T2)
		伝送容量	
サービス時間率			
	操作性		

受信機	処理系	
	蓄積系	
	インターフェース	CASシステムと同様なCAを確保するために 携帯受信機にも採用するためにmicroSDメモリのようなカードインターフェースを確保することが望ましい。 国際標準であるDLNAやDTCP-IPを使用し、データ転送にも秘匿性を確保すべきである。
	仕様	受信機の性能指標が明記されてる文書が開示されていること。(例: DVB-T/H, MediaFLO)
全体に対するコメント		

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット(KDDI)

サービス	高機能化/多様化	コメントなし	
	アクセサビリティ	複数番組を放送する場合、番組の選択が容易であること。 (理由) 全国放送は、SFN前提のため、物理CHの切り替えは必要ない。	
	拡張性	コメントなし	
インターオペラビリティ		携帯端末向けマルチメディア放送は、従来の放送とは異なった新しい情報ニーズに対応することが期待されている。国際標準となっているものについては、技術方式間の競争を促進し今後のサービスの新たな発展を円滑に進める観点から、必ずしもメディア横断の互換性を求める必要はないのではないか。 また、「できる限り互換性を有する」という言葉の意味はどのようなものか？ の「既存システムに妨害を与えないこと」は、技術方式の干渉妨害に移すべき。 国際標準となっていること。	
受信の形態		移動受信が主なターゲットであり、また移動受信が可能であれば固定受信は可能である。あえて固定受信を記載する必要はないのでは？	
サービスエリア・周波数の有効利用		効率的な置局に必要な技術条件とは？所要CNが低いということか？ 屋内受信も可能であることが望ましい。	
実時間性		コメントなし	
著作権保護		コメントなし	
放送品質	画質	コメントなし	
	音質	コメントなし	
	低C/N時の特性	コメントなし	
伝送品質		意味不明であり、削除するか又は誰にでも理解できる記述にすべき。	
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式	コメントなし	
	音声入力フォーマット及び符号化方式	コメントなし	
	データ符号化方式	映像や音声のフォーマットと同様に国際的に標準的なフォーマットが良いのではないかと？	
	多重化方式	コメントなし	
	限定受信方式	スクランブルサブシステム	削除。サービスを標準化する必要性が不明確であり、事業者の創意工夫ができるようにすべき。
		関連情報サブシステム	削除。ソフト放送事業者、ハード放送事業者ごとに創意工夫ができるよう事業者間で共通の形式に縛るべきではない。 削除。携帯受信において、要求条件として定める必要性に乏しい。
	伝送路符号化方式	使用周波数	コメントなし
		伝送帯域幅	「伝送帯域幅、スペクトラムマスク、スプリアス等は、既存システム及び同一周波数帯域内の他の放送システムに妨害を与えないものであること。
		伝送路と干渉・混信妨害	コメントなし
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)	移動受信に強い伝送方式であること。
伝送容量		コメントなし	
サービス時間率		サービス時間率の意味が不明、降雨減衰の話か？	
受信機	操作性	コメントなし	
	処理系	削除。端末の設計に係ることで、技術方式の話ではないと思われます。	
	蓄積系	削除。端末の設計に係ることで、技術方式の話ではないと思われます。	
	インターフェース	削除。端末の設計に係ることで、技術方式の話ではないと思われます。 削除。通信機能を有しない端末も考慮すべき。	
仕様		コメントなし	
全体に対するコメント		・要求条件の内容は、広くシステム提案募集を行う予定であることから、規定内容が明確で、わかりやすいものであるべき。(要求条件の説明を聞かないと理解できないのは不適当) ・特定システムを想定した要求条件は、削除すべき。 ・要求条件について、強制規格関連項目は、必須事項とするが、任意規格に該当する要求条件については、今後のサービス発展を阻害しないため、柔軟な記述にすべき。 ・要求条件は、「全国向けマルチメディア放送」、「地方ブロック向けマルチメディア放送」及び「デジタル新型コミュニティ放送」の共通部分と固有部分に分けて整理すべき。	

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット

サービス	高機能化 / 多様化			
	アクセサビリティ			
	拡張性			
インターオペラビリティ			「わが国では、移動体・携帯向けサービスとして、すでに「ワンセグ」が広く普及していることから、「ワンセグとの互換性、共存の容易さ」を要求条件として考慮すべきと考える。」	
受信の形態			通信機能を有しない受信端末も想定されることから、「固定、携帯、移動受信、または通信機能の有無等のそれぞれの受信形態に適した性能及び機能を有し、受信者のニーズに応じた多様な受信機が実現可能であり、アンテナも含めて小型、軽量、小電力化が図れること。」のように変更する	
サービスエリア・周波数の有効利用				
実時間性				
著作権保護				
放送品質	画質			
	音質			
	低C / N時の特性			
	伝送品質			
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式			
	音声入力フォーマット及び符号化方式			
	データ符号化方式			
	多重化方式			
	限定受信方式	スクランブルサブシステム		
		関連情報サブシステム		
	伝送路符号化方式	使用周波数		
		伝送帯域幅		
		伝送路と干渉・混信妨害		
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)		
		伝送容量		
		サービス時間率		
	受信機	操作性		
処理系				
蓄積系				
インターフェース		・通信機能を有しない受信端末も想定した課金システム等のためのインターフェースも考慮することが必要。 ・「高速データ転送が可能であること。」は、なるべく低廉な受信機の実現を阻害しない範囲で望ましい要求条件とすべき。		
仕様				
全体に対するコメント			「全国向け放送」と「地方ブロック向け放送」とでは、サービスエリア・周波数の有効利用等の条件が異なる。よって放送方式への要求条件が異なるようであれば、分けて議論することも考えるべき。	

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット

サービス	高機能化 / 多様化			
	アクセサビリティ			
	拡張性			
インターオペラビリティ		〔文言追加(下線部)〕 衛星放送、地上放送、CATV、インターネット、蓄積メディアなど様々なメディア間で、できる限り互換性を有すること。(理由: インターネット上のコンテンツ、サービスとの連携をはかるべき)		
受信の形態				
サービスエリア・周波数の有効利用				
実時間性				
著作権保護				
放送品質	画質		〔項目削除〕(理由: 将来的な技術革新に対応するため、品質基準は技術基準として規定しないことが望ましい。)	
	音質			
	低C / N時の特性			
	伝送品質			
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式		〔項目削除〕(理由: 将来的な技術革新に対応するため、規定は多重化方式までとし、入力フォーマットや符号化方式は技術基準として規定しないことが望ましい。)	
	音声入力フォーマット及び符号化方式			
	データ符号化方式			
	多重化方式			
	限定受信方式	スクランブルサブシステム		
		関連情報サブシステム		
	伝送路符号化方式	使用周波数		〔内容追加〕「新型コミュニティ放送」についての記述を追加すべきではないか。
		伝送帯域幅		
		伝送路と干渉・混信妨害		
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)		
		伝送容量		
		サービス時間率		
	受信機	操作性		
処理系				
蓄積系				
インターフェース				
仕様		〔文言修正〕受信機が満たすべき技術仕様の開示、またはその入手方法の開示がなされていること。(理由: 原文の「開示」の意味の明確化)		
全体に対するコメント				
〔項目追加〕周波数割当・サービスエリアの変更			周波数割り当てやサービスエリアの変更に柔軟に対応できるシステムであること。(理由: 与えられた帯域のなかでの柔軟性確保)	

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答

サービス	高機能化 / 多様化	現行のワンセグ放送と同等以上の高画質動画サービスも提供可能であること。	
	アクセサビリティ	・年齢による視聴制限 (パレンタルレート) 設定のような、視聴者からのアクセス制御を可能とすること。 ・非常災害時における対象受信機への起動制御信号及びメッセージの放送について考慮されていること。	
	拡張性		
	インターオペラビリティ		
	受信の形態		
	サービスエリア・周波数の有効利用		
	実時間性	視聴者に違和感を与えない程度の映音の遅延差であること。	
	著作権保護		
放送品質	画質	現行のワンセグ放送と同等以上の高画質動画サービスも可能であること。	
	音質	現行のワンセグ放送と同等以上の高音質サービスも可能であること。	
	低C / N時の特性		
	伝送品質		
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式	現行設備や受信機への負担などを考慮して選定される種々の映像入力フォーマットに適用できること。	
	音声入力フォーマット及び符号化方式	・低ビットレートかつ高音質な符号化が可能な方式であること。 ・多チャンネル音声放送が可能な符号化方式であること。 ・将来の拡張性を考慮した符号化方式であること。 ・現行設備や受信機への負担などを考慮して選定される種々の音声入力フォーマットに適用できること。	
	データ符号化方式		
	多重化方式		
	限定受信方式	スクランブルサブシステム	
		関連情報サブシステム	
	伝送路符号化方式	使用周波数	
		伝送帯域幅	
		伝送路と干渉・混信妨害	
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)	
伝送容量			
	サービス時間率		
受信機	操作性		
	処理系		
	蓄積系		
	インターフェース		
	仕様		
	全体に対するコメント		

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。

携帯端末向けマルチメディア放送方式 要求条件コメント回答フォーマット

サービス	高機能化 / 多様化		
	アクセサビリティ		
	拡張性		
インターオペラビリティ			<p>[衛星放送、地上放送、CATV、蓄積メディアなど様々なメディア間で、できる限り互換性を有すること。]について</p> <p>これは衛星デジタル放送の高度化に関する要求条件からの引用とこのことですが、ここで言う互換性とはどのような観点での互換性を意味しているのでしょうか。</p>
受信の形態			
サービスエリア・周波数の有効利用			<p>[放送波中継等による同一周波数の利用 (SFN) も可能にすること。]について</p> <p>携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方に関する懇談会 報告書の19ページでは、「全国向け放送」については、SFNを用いて単一のチャンネルのみを用いる方法により置局を行うことを前提として、周波数帯域幅を割り当てるのが適当である」とされています。これに沿って、SFNを前提とすることという表現ではいかがでしょうか。</p>
実時間性			
著作権保護			
放送品質	画質		
	音質		
	低C/N時の特性		
	伝送品質		<p>[受信障害時に、受信機側で対応しやすいシステムであること。]および [障害復旧時には、速やかに正常受信に戻ることに]について</p> <p>これらは地上デジタル音声放送に関する要求条件からの引用とこのことですが、これらは伝送品質としてどのようなことがらを意図されているのでしょうか。</p>
技術方式	映像入力フォーマット及び符号化方式		
	音声入力フォーマット及び符号化方式		
	データ符号化方式		<p>[既存データ符号化方式との両立性やインターオペラビリティに関して考慮すること。]について</p> <p>これは地上デジタル音声放送に関する要求条件からの引用とこのことですが、具体的にはどのようなことを想定されているのでしょうか。映像&音声入力フォーマット及び符号化方式の欄にある国際標準との整合といった点も配慮されるのでしょうか。</p>
	多重化方式		
	限定受信方式	スクランブルサブシステム	[標準化するサービスへの対応を考慮すること。]について ここで言う「標準化するサービス」とはどのようなサービスが想定されているのでしょうか。
		関連情報サブシステム	
	伝送路符号化方式	使用周波数	
		伝送帯域幅	
		伝送路と干渉・混信妨害	
		伝送方式(変調・誤り訂正方式を含む。)	
伝送容量			
	サービス時間率		
受信機	操作性		<p>[高齢者、障害者などに配慮した操作性を有すること。]について</p> <p>これは衛星デジタル放送の高度化に関する要求条件からの引用ですが、携帯端末向けマルチメディア放送の場合、各個人が、幅広い商品ラインアップの中から、それぞれのライフスタイル、ニーズに合った受信機を購入できるので、メーカーの商品企画にゆだねることも良いのではないのでしょうか。</p>
	処理系		
	蓄積系		<p>[必要に応じてコンテンツ蓄積系の構成が選択できること。] [記録メディアの性能向上に伴うコンテンツ蓄積系の拡張、変更が容易であること。] について</p> <p>これは衛星デジタル放送の高度化に関する要求条件からの引用ですが、携帯端末向けマルチメディア放送の場合、各個人が、幅広い商品ラインアップの中から、それぞれのライフスタイル、ニーズに合った受信機を購入できるので、メーカーの商品企画にゆだねることも良いのではないのでしょうか。</p>

インターフェース	[高速データ転送が可能であること。]について これは衛星デジタル放送の高度化に関する要求条件からの引用で、BSチューナーを想定しての要求条件と思われますが、携帯端末向けマルチメディア放送の場合、外部へのデータ転送用IFは必須ではないと思われます。どのようなケースを想定されているのでしょうか。
仕様	
全体に対するコメント	

新しい項目の追加は、全体に対するコメント欄より下にセルを追加し、ご記入ください。